

おうちでできる耳の聞こえ確認リスト



子どもはいろいろな音を聞いたり、声を出したりして、ことばを話すための準備をしています。

耳の聞こえは、出産された病院で新生児期に聴力検査を受けて「異常なし（パス）」の結果であった場合でも、その後の病気などが原因で聞こえにくくなる場合があります。

乳幼児健診では、問診や診察の時に、お子さんの耳の聞こえを確認していますが、耳の聞こえは保護者の方が日常生活の様子から気づくことも多いものです。

このリストはそれぞれの時期のお子さんの聞こえ方や聞こえた時の反応をまとめたものです。お子さん一人一人には、個人差がありますので、すべて該当するとは限りませんが、おうちでのお子さんの様子を確認してみましょう。

時期	確認項目
 10～11 か月児	「ママ」「マンマ」「ねんね」など、人のことばをまねて言いますか。
	気づかれないようにして、そっと近づき、ささやき声で名前を呼ぶと振り向きますか。
	音楽のリズムに合わせてからだを動かしますか。
	「…ちょうだい。」というと、それを手渡してくれますか。
	「…どこ？」「…ちょうだい」と聞くと、その方向を見ますか。
12～15 か月児	隣の部屋で物音がすると、不思議がって耳を傾けたり、合図をして教えてくれますか。
	簡単なことばによる言いつけや要求に応じて行動しますか。
	目、耳、口、その他の身体部位を尋ねると、指さして教えてくれますか。

❖中耳炎にかかったとき気をつけていただきたいこと❖

中耳炎：主に細菌が中耳に入り炎症を起こす病気

*症状…発熱、耳のつまったような感覚、耳の痛み、聞こえにくさなど

*しっかりと治療を行うことで、症状は改善しますが、自己判断で治療を中断すると慢性中耳炎になり、難聴を起こすことがあります。医師から治ったといわれるまでは治療を続けてください。

*中耳炎の治療終了時には、聴力が回復したことを確認しましょう。



お子さんの耳の聞こえについてご心配なことがあれば、いつでも保健センターまでご相談ください。

近江八幡市こども健康部健康推進課

TEL：0748-33-4252

FAX：0748-34-6612